

みんながつながるウォータータウン

～帰帆島及び中間水路を地域の資源とした新たな水辺の暮らし～

1982年に帰帆島が整備されてから40年が経ち、時代の変化により、施設の老朽化や中間水路の水質などが、地域の問題としてあがっています。これらの問題を解決するために、老上西学区まちづくり協議会では、中間水路を介してつながる老上西学区と矢橋帰帆島の未来のあり方を考えるためのワークショップを開催しました。

ワークショップでは、老上西学区の地域住民の皆さんをはじめ、草津市職員、矢橋町自治会、湖南中部浄化センター関係者、および民間企業の方々に参加していただきました。現状の帰帆島周辺の良い点、悪い点を話し合い、具体的な将来のアイデアを出し合いました。

スローガンと5つのコンセプト

5つのコンセプト



水と親しむ風景
のある暮らし



歴史を学び
地域を知る島



みんなに愛される
インクルーシブな水辺



まちが育む
健康習慣

welcome!

滋賀一魅力のある
レジャースポット

5つのコンセプトで、SDG'sの目標を達成します。

かつて矢橋は東海道を結ぶ湖上交通網の要でした。矢橋港は急がば回れということわざが生まれた場所と言われており、連歌師の宗長が詠んだ「もののふの矢橋の船は早くとも 急がば回れ瀬田の長橋」という歌がもとになっているそうです。

現在も当時から目印であったやイチョウや常夜灯、船着き場跡は残っていますが、近江八景に描かれているような帆掛け舟の行き交う景色は見られなくなりました。

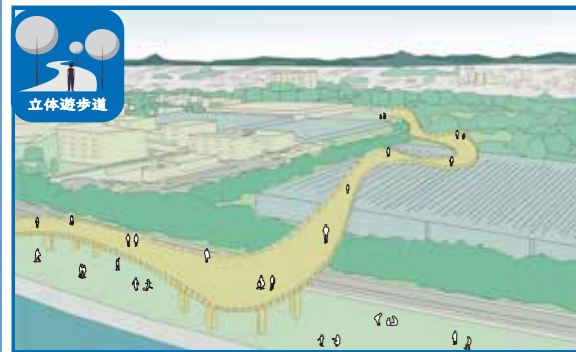
以上のような歴史的な背景を活かしつつ、新たな水辺の風景を描くことが求められています。



▲近江八景 瀬田の唐橋



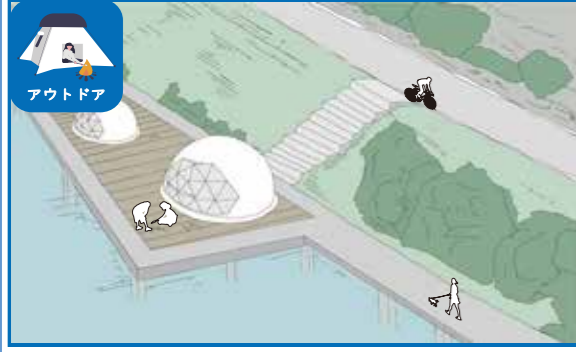
▲近江八景 矢橋の帰帆



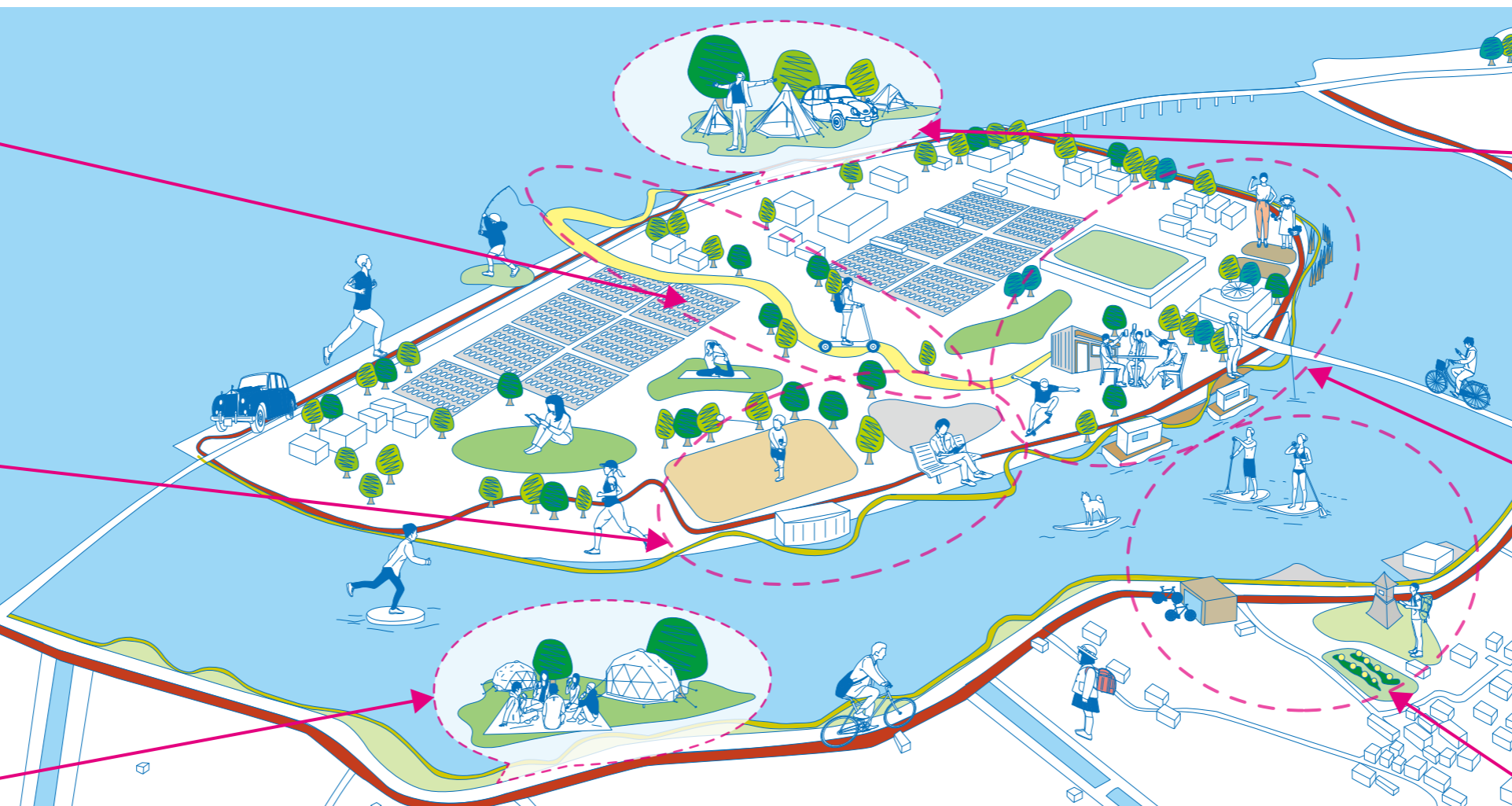
立体遊歩道
人と帰帆島の架け橋



多目的グラウンドー矢橋帰帆島公園プール
近隣の大型商業施設と連携した屋外スポーツ施設の充実



グランピングロード
地域と観光をつなぐ大規模な観光スポット



釣り・オートキャンプ場
多様な利用者でにぎわう湖岸テラス



近隣の総合病院などと連携した
食と環境をテーマにした集客施設



水上レジャー施設
いろんなアクティビティがあふれる矢橋港

エリア全体のデザインⅠ

閉鎖性水域である
中間水路の
水質改善



エリア全体のデザインⅡ

下水処理場の
増設・改修に伴った
整備計画



エリア全体のデザインⅢ

各プロジェクトを
つなぐ
歩行空間整備



エリア全体のデザインⅣ

レンタサイクルや
水上交通を取り込んだ
交通体系づくり

